

【事業名】 令和5年度車載電池産業におけるCFP・DD登録・連携のアプリケーション開発実証

事業者名：株式会社ゼロボード

実施期間：令和6年4月～令和6年8月

1. 事業の背景・目的

欧州電池規則に準じた対応を自動車OEMと蓄電池サプライチェーン各社が行えるよう、令和5年度で弊社が実施した事業に引き続き、令和6年度事業においても、これまで構築したデータ連携システム層との接続機能について以下の3点を中心に対応していく。

- ① 連携実証を通して提示された拡張要件の開発
- ② 2024年3月中に公開が予定されている欧州電池規則のCFP算定要件を取りまとめた細則案（ドラフト版）に基づく追加開発
- ③ テスト参加事業者が各々で希望するテストシナリオ、デモデータに基づくユーザーテスト（Step4Phase3）の完遂、その一連の伴走支援

さらにその上で、CFPデータの算定・連携を学習されたユーザーと本番運用を実施し、実際の製品・部品についてのデータ連携システム層を通じたサプライチェーン連携を実現する。

2. 補助事業の概要

- ① 連携実証を通して提示された拡張要件の開発：
DADCとABtCとの検討の中で定義された拡張要件について、NTTデータが定義したAPI仕様に基づき、開発した。その上で、異なるアプリ間でデータ流通システム層を介した拡張要件のユーザーテストを実施

開発機能	ステータス
データ流通およびトレサビシステムのAPIバージョン追従対応	開発済/テスト済
部品削除機能	開発済/テスト済
非同期処理のステータス確認機能	開発済/テスト済
依頼の回答期限設定と回答状況取得機能	開発済/テスト済
依頼メッセージの最大文字数変更	開発済/テスト済

- ② 欧州電池規則のCFP算定要件を取りまとめた細則案（ドラフト版）に基づく追加開発：
現行のデータ流通システム層の機能では不足している、欧州電池規則のCFP細則（ドラフト版）の連携対象となるデータについて、サプライチェーン間で連携するためのZeroboardによるアンケート機能を開発。（下記、アンケート画面UI）

製品単位の排出量 算定方法の許容範囲 回答を許容する算定方法（必須） <input type="radio"/> 製品ライフサイクルに関わるデータのみを積み上げて算定したCFP <input type="radio"/> 上記がない場合、以下を許容する <input type="checkbox"/> 総量排出量（Scope1, 2, 3）の製品単位の按分値 <input type="checkbox"/> 総量排出量（Scope1, 2）の製品単位の按分値 <input type="checkbox"/> 総量排出量（Scope1, 2, 3）	算定データ 回答時に表示するデータ収集期間 <input type="text"/> データ収集期間の取得（必須） サプライヤーが算定を行なったデータ収集期間に関する回答 <input type="radio"/> 必須 <input type="radio"/> 任意 <input type="radio"/> 取得しない	その他項目 算定方法（必須） 算定時に参照した規則、ガイドラインに関する回答 <input type="radio"/> 必須 <input type="radio"/> 任意 <input type="radio"/> 取得しない カットオフルール（必須） 算定時に設定したカットオフルールに関する回答 <input type="radio"/> 必須
--	---	--

- ③ テスト参加事業者が各々で希望するテストシナリオ、デモデータに基づくユーザーテスト（Step4Phase3）の完遂、その一連の伴走支援：
 - Step4Phase3延長のユーザーテストにおいて、弊社アプリを利用した事業者は50社存在
 - 内、本番運用に備えて弊社アプリを導入した事業者は5社存在
 - テストユーザー向けに展開した欧州電池規則及びOuranos Ecosystem関連のウェビナーを3件展開